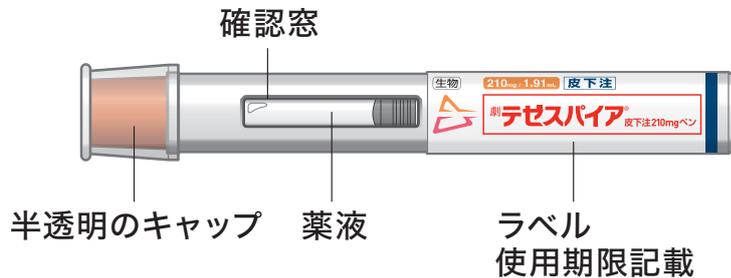


# テゼスパイア®皮下注210mgペン 使用方法

テゼスパイア皮下注210mgペンを使用する前に、主治医から十分な説明を受けてください。

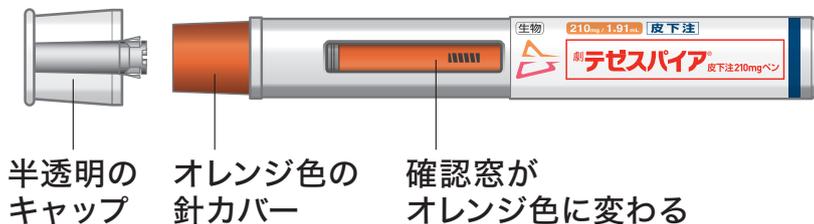
## <使用前>



## 【保管に関する注意事項】

- 薬液の入ったペンは箱のまま必ず冷蔵庫（2～8℃）で保管してください（冷凍しないでください）。
- 冷蔵庫から取り出した後は室温（25℃以下）で保存し、30日以内に使用してください。
- 直射日光のあたる場所や高温多湿の場所に置かないでください。
- お子様の目や手の届かない場所で保管してください。

## <使用后>



## 【使用に関する注意事項】

- ペンを振らないでください。
- 硬い場所に落とした場合は使用しないでください。

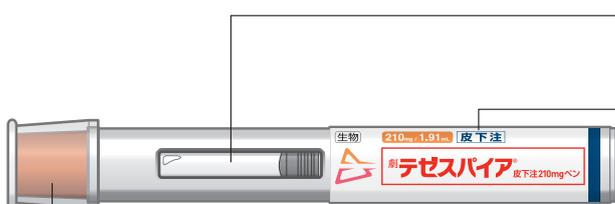
## 1. 箱に入れたまま、ペンを室温に戻します

- ペンを冷蔵庫から取り出して、箱に入れたままの状態ですべて室温（25℃以下）において**60分以上**待ちます。
- 室温に戻した後は、再び冷蔵庫に戻さないでください。
- 冷蔵庫から取り出した後は室温（25℃以下）で保存し、**30日以内に使用しなかった場合は、廃棄してください。**



## 2. 箱からペンを取り出し、確認します

ペンの中央部をつかみ、箱から取り出し、以下の項目をチェックします。



投与直前まで、半透明のキャップははずさないでください

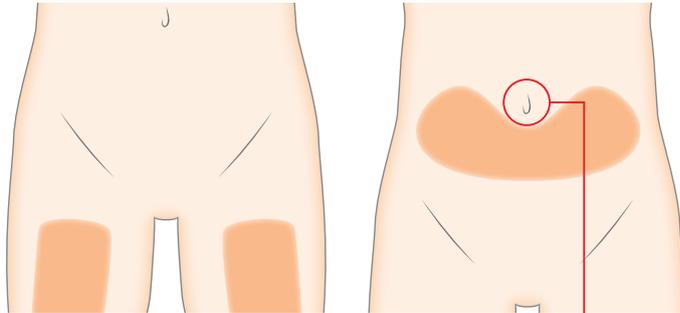
- 未使用の状態であることを確認してください。  
※確認窓がオレンジ色に変わったものは一度使用した製品です。
- 使用期限を確認してください。
- 薬液に濁りや粒子、変色が見られる場合は、使用しないでください。  
※薬液は無色～淡黄色の澄明～乳白光を呈する液です。気泡が見られる場合がありますが、問題ありません。
- ペンに損傷がないことを確認してください。

### 3. 注射する部位を決めます

注射する部位は、「太もも」、「お腹」又は「腕」注)です。  
お腹へ投与する場合は、おへそから約5cm以上離して注射してください。  
また、投与毎に注射部位を変えてください。

注) 介助者の方が注射する場合は、腕に注射することもできます。

<ご自身・介助者が注射する場合>

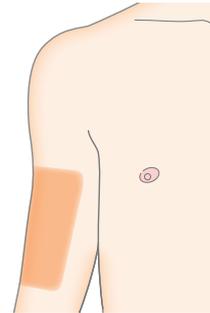


太もも

お腹

おへそ周り5cmは避ける

<介助者が注射する場合のみ>



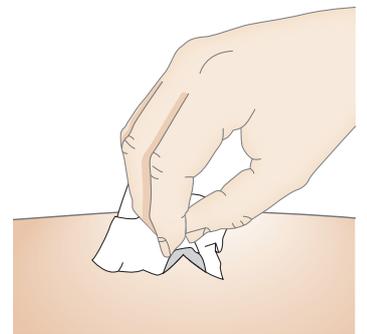
腕

- 前回注射した部位から3cm以上離れた部位を選んでください。
- 皮膚が敏感な部位、皮膚に傷、紅斑、硬化がある部位には注射しないでください。
- 服の上から注射しないでください。

### 4. 手を洗って、注射部位を消毒します

両手を石鹸でよく洗い、清潔なタオルで拭きます。  
消毒用アルコール綿で注射部位を消毒し、乾くまで待ちます。

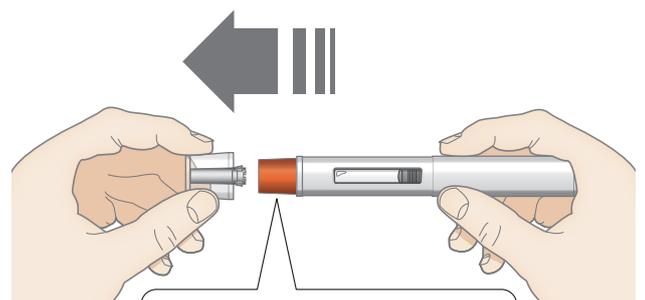
- 注射する前に、消毒した部位に触れないでください。
- 消毒した部位は自然乾燥させてください。扇風機の風や息を吹きかけないでください。



### 5. ペンのキャップをはずします

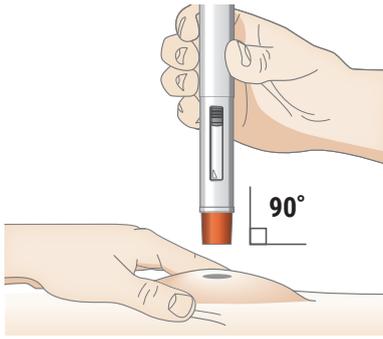
片手でペンを持ち、もう片方の手で半透明のキャップを慎重にまっすぐ引き抜きます。

- 投与直前まで、キャップははずさないでください。
- 半透明のキャップをはずした後は、**再度キャップをしないでください。** 針刺し事故の他、針曲がりや針折れにつながる恐れがあります。
- オレンジ色の針カバーを指で押さないでください。



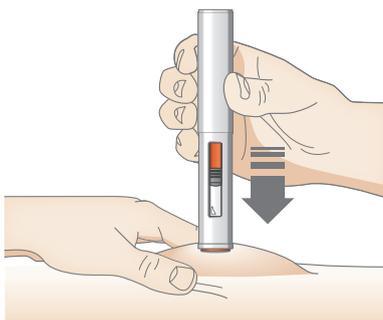
針が中に入っているので、**オレンジ色の針カバーには触らないでください。**

## 6. 注射します



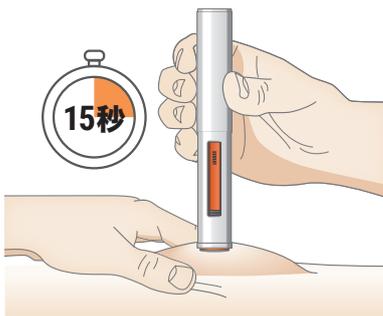
- ① 確認窓が見えるようにペンを持ちます。
- ② ペンが注射部位に対して直角になるよう、オレンジ色の針カバーを当てます。

- 注射部位に対してペンが直角になれば、皮膚はつまんでもつままなくても問題ありません。



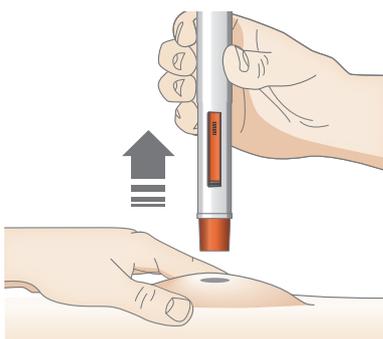
- ③ オレンジ色の針カバーが見えなくなるまで、ペンを注射部位にしっかりと押し当ててください。
- ④ 「カチッ」という音がすると、薬液の注入が始まります。

- 注入が始まると、確認窓がオレンジ色に変わっていきます。
- 薬液の注入が終わるまでペンを押し当てたまま、注射部位から絶対に離さないでください。



- ⑤ 15秒間、ペンをしっかりと押し続けてください。
- ⑥ 2回目の「カチッ」という音は、正しく投与されている操作音です。

- 確認窓全体がオレンジ色になります。



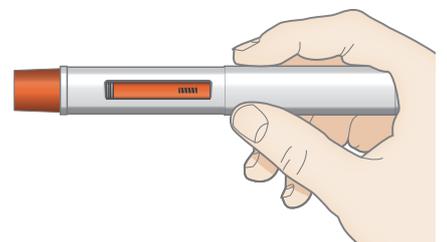
- ⑦ 注射が終わったら、ペンをまっすぐ皮膚から離します。

- オレンジ色の針カバーが下に下がり、針を覆った状態で固定されます。

## 7. 確認窓を確認します

確認窓全体がオレンジ色になっていることを確認します。

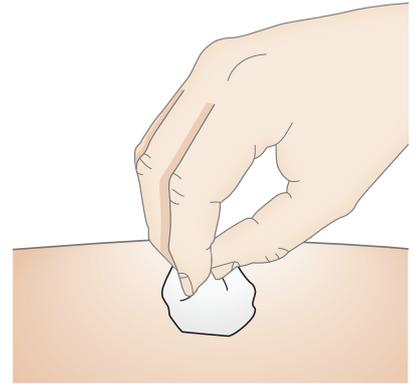
- 確認窓全体がオレンジ色になっていない場合やその他の懸念事項がある場合は、医療機関に連絡してください。医師の許可なく2本目の注入はしないでください。



## 8. 注射部位を確認します

消毒用アルコール綿で皮膚を軽く押さえてください。

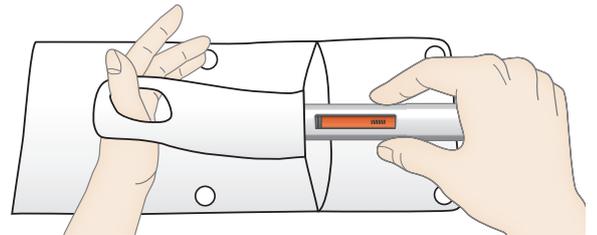
- 注射部位から少量の血液や液体が出ることがありますが、問題ありません。
- 消毒用アルコール綿で軽く押さえた後、アルコール綿をはずし、注射部位からの出血がないことを確認したら、注射は終了です。
- 腫れることがありますので、注射部位をこすらないでください。**必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼ってください。



## 9. 使用済みのペンを廃棄します

テゼスパイア皮下注210mgペンは1回ごとの使い捨てです。使用後は再使用せず、用意した廃棄用容器に入れ、医療機関の指示に従って廃棄してください。**半透明のキャップはペンに取り付けず、廃棄用容器に入れてください。**

- ペンを分解しないでください。
- 使用済みのペンは医療用廃棄物です。絶対に自己判断で廃棄せず、医療機関の指示に従って廃棄してください。
- お子様が触れないように注意してください。



## Q&A

**Q** 注射予定日に注射するのを忘れてしまいました。どうしたらよいのでしょうか？

**A** 主治医に連絡し、主治医の指示に従ってください。

**Q** 何時ぐらいに注射するのがよいのでしょうか？

**A** 注射時間に特に決まりはありません。ご都合のよい時間帯に注射してください。

**Q** 体調が悪いのですが、予定通りに注射しても大丈夫でしょうか？

**A** 自己判断はしないで主治医に連絡し、主治医の指示に従ってください。

**Q** 注射予定日に旅行や出張が重なってしまいました。どうしたらよいのでしょうか？

**A** 注射予定日に外泊することが分かったら、あらかじめ主治医に相談してください。

**Q** 注射する前にペンを室温に戻すのはなぜでしょうか？

**A** 室温（25℃以下）に戻すことで、不快感が軽減されるためです。

副作用や注意点については、患者さん向け冊子「テゼスパイア®の治療を受けられる患者さんへ」をご参照ください。その他気になることがある場合は、主治医の先生に相談しましょう。